

あきしま 市議会だより

No.288

令和6年(2024年) 4月30日

おもな内容

- 予算審査(質疑)..... 1面～4面
- 代表質問..... 2面～4面
- 一般質問、討論..... 5面～8面
- 請願・陳情..... 8面
- 提出案件と結果、賛否の分かれたもの..... 9面
- 意見書、会議の開催状況、
これからの会議の予定.....10面

編集：昭島市議会 議会運営委員会 発行：昭島市議会事務局 〒196-8511 東京都昭島市田中町一丁目17番1号 電話：042-544-4476 昭島市ホームページ <https://www.city.akishima.lg.jp/>

第1回定例会

令和6年度一般会計・特別会計の各当初予算
オスプレイの飛行再開に関する意見書
など44議案を可決
(一般会計予算総額506.7億円)
施政方針に対して代表質問を実施

令和6年第1回昭島市議会定例会は、2月27日から3月26日までの29日間を会期として開かれました。今定例会では令和6年度の施政方針・教育施策推進の基本的考え方が表明され、これに対して、5会派から代表質問が行われました。市長から提出された議案43件、議員から提出された議案1件が可決及び同意され、一般質問は3日間にわたり14人の議員が行いました。



▲花も満開、笑顔も満開

(左上・右下：昭和公園 左中央：エコ・パーク 中央：入学式)

予算審査 特別委員会

開催日 3月7日・
8日・11日

委員長 小林こうじ

副委員長 吉野 智之

委員数 20人

(正副議長を除く)

◆審査結果 各会計とも
原案可決

※予算額及び議決結果は
4面に掲載



副委員長 吉野 智之



委員長 小林 こうじ

各会派の主な質疑 (質疑順に掲載)

自由民主党昭島市議団

質問 情報システム管理費について、令和5年度予算に比べ約4億9千万円増加

答弁 中小企業振興公社と連携した事業であり、6年度も状況に応じたテーマで

答弁 赤字地方債の減に加え、総合交付金の増額など

質問 整備予定の南文化公

質問 市内でフードバンク活動を実施している団体にに対し、車両の燃料費等に要する経費を補助する。

質問 創業支援として、5年度はSNSの活用術セミナーを開催したが、今後も同様のセミナーを開催する予定は。

質問 児童・生徒がいじめ防止に必要な考え方を学ぶことが重要と考える。スクールロイヤーによるいじめ防止教室を実施する考えは。

質問 2月15日現在で全体作業の63.6%を完了。これは全国で27番目、多摩26市で2番目の進捗率である。

質問 個人市民税について、国からの定額減税の補填分を含めると、直近5か年で最も多くなると見込んでいます。コロナ禍からの経済活動の回復に伴い、個人市民税も緩やかに回復していくと考えているのか。

質問 カラオケ利用団体の状況等を確認し、手法の一つとして検討していく。

質問 30年ぶりの賃上げのほか、市内での生産年齢人口の増加が数年続いていることから、堅調に推移していくと考えている。

質問 中学生海外交流事業費について、①予算100万円の内容は。②過去には昭島の生徒が海外へ行ったことが、今回は受け入れのみか。

質問 6年度より実施される医療用ウィッグ・補整具購入費等補助金の具体的な補助内容は。

質問 ①6年度は不交付団体との見込みだが、実際の算定で交付団体となる可能性は。

質問 ①オーストラリアの生徒を受け入れるため、ホームステイ先への謝礼等の費用である。②コロナ禍で実施できなかったが、今回は受け入れを実施する。

質問 1個当たりの上限額を5万円とし、一人当たり2個まで補助を実施する。

質問 ①国税の伸び等を勘案しても、不交付と見込んでいる。②様々な財政状況を勘案しなければならず、現時点では不透明である。

質問 フードバンク活動支援事業補助金として新たに24万円計上しているが、事業内容は。

質問 消防団が消火活動に用いる拝島分水は、水が流れていない状況にあるとの声を聞く。水源の確保について、対策は。

質問 職員研修について、若い世代を大切に育て、職員の定着を図ることが重要と考える。コロナ禍に実施されていた2年目研修を今年度も継続するのか。

質問 様々な職場へ配属になった職員相互のコミュニケーションの活性化にもなり、継続して実施していく。

質問 地方債残高について、平成27年度と比較して令和6年度は約60億円の減額となっているが、要因は。

質問 昭島市からの要望や市のランドマークとなる点も踏まえ、改修を実施する。

質問 ②2月末現在で1千240万円の寄附がある。③まずは建築基準法やバリアフリー等の課題を整理していく。

質問 現在の給水スポットと同様の仕様としつつ、引き続き詳細を検討していく。

質問 6年度より実施される医療用ウィッグ・補整具購入費等補助金の具体的な補助内容は。

質問 1個当たりの上限額を5万円とし、一人当たり2個まで補助を実施する。

質問 消防団が消火活動に用いる拝島分水は、水が流れていない状況にあるとの声を聞く。水源の確保について、対策は。

質問 昭島市からの要望や市のランドマークとなる点も踏まえ、改修を実施する。

質問 ②2月末現在で1千240万円の寄附がある。③まずは建築基準法やバリアフリー等の課題を整理していく。

質問 現在の給水スポットと同様の仕様としつつ、引き続き詳細を検討していく。

質問 6年度より実施される医療用ウィッグ・補整具購入費等補助金の具体的な補助内容は。

質問 1個当たりの上限額を5万円とし、一人当たり2個まで補助を実施する。

質問 消防団が消火活動に用いる拝島分水は、水が流れていない状況にあるとの声を聞く。水源の確保について、対策は。

質問 昭島市からの要望や市のランドマークとなる点も踏まえ、改修を実施する。

質問 ②2月末現在で1千240万円の寄附がある。③まずは建築基準法やバリアフリー等の課題を整理していく。

質問 現在の給水スポットと同様の仕様としつつ、引き続き詳細を検討していく。

質問 6年度より実施される医療用ウィッグ・補整具購入費等補助金の具体的な補助内容は。

質問 1個当たりの上限額を5万円とし、一人当たり2個まで補助を実施する。

質問 消防団が消火活動に用いる拝島分水は、水が流れていない状況にあるとの声を聞く。水源の確保について、対策は。

質問 昭島市からの要望や市のランドマークとなる点も踏まえ、改修を実施する。

質問 ②2月末現在で1千240万円の寄附がある。③まずは建築基準法やバリアフリー等の課題を整理していく。

質問 現在の給水スポットと同様の仕様としつつ、引き続き詳細を検討していく。

質問 6年度より実施される医療用ウィッグ・補整具購入費等補助金の具体的な補助内容は。

質問 1個当たりの上限額を5万円とし、一人当たり2個まで補助を実施する。

質問 消防団が消火活動に用いる拝島分水は、水が流れていない状況にあるとの声を聞く。水源の確保について、対策は。

令和6年度施政方針ならびに 教育施策推進の考え方について



自由民主党昭島市議団
木崎 親一 議員

質問 市制施行70周年を迎えるにあたり、市職員と市議会議員を経験した市長としての思いは。

市長 水と緑の自然環境が調和したまちづくりを進め、快適な住宅都市として高い評価を受け、大変うれしく思っている。

質問 自然災害への備えは待ったなしの課題だが、今後の地域防災力向上に向けた展望と、特に注力していく具体的な取り組みは。

市長 災害に強いひとづくりを新たな視点と捉え、身近な場所で行うまちかど防災訓練等に取り組んでいく。

質問 子どもが健やかに育つまち・子育てしやすいまちづくりのため、今後の子ども子育て施策をどのように展開していくのか。

市長 子ども家庭部を再編して、施策への司令塔機能強化し、子ども・若者・子育ての視点を持ったまちづくりを推進する。

質問 脱炭素社会・環境負荷低減への取り組みについて、まちづくり企業サミットにおける企業からの提言を踏まえた今後の展開は。

市長 提言のあった再生可能エネルギー電気等の共同購入など、スピード感を持って検討していく。

質問 現下の物価高騰への対応について、地域経済の好循環につなげていくため、行政としての取り組みは。

市長 水道料金・下水道使用料減免など様々な施策を講じてきた。今後も地域の声を受け止め、迅速かつ的確な支援に努めていく。

質問 市民総合交流拠点施設の整備について、新たな交流の拠点とするための取り組みは。

市長 居場所づくりプロジェクトを実施するなど、市に開く全ての方に開かれた交流拠点を目指していく。

質問 国民健康保険の保険料率改定と賦課限度額の引き上げの見送り、介護保険の基準額引き下げという決断に至った経緯は。

市長 昨今の長引く物価高騰で市民生活も厳しさを増している。①子どもたちの評価や施策の効果は。②6年度は更に拡充して実施することだが今後の展望は。

令和6年度施政方針と 教育施策推進の考え方について



公明党昭島市議団
渡辺 純也 議員

質問 市制施行70周年を機会として、名誉市民条例を制定すべき。考えは。

市長 他市の先行事例を参考にし、検討していく。

質問 能登半島地震被災地への物資の支援や職員の派遣等について、状況は。

市長 多摩26市と連携し、職員を派遣している。

質問 脱炭素化の観点から、まちづくり企業サミットで示された企業の取り組みを

質問 市内外に向け、子育てしやすいまちをアピールしていくべき。考えは。

市長 子育て世代が魅力を感じられる、効果的な周知方法について検討していく。

質問 運動施設について、施設整備の検討と既存施設の改修、複合化など早急な検討を進めるべき。考えは。

市長 拝島公園プール跡地の整備など、運動施設の再編について効率的な運営手法等の検討を進めていく。

質問 今後の可燃ごみ処理手法の検討について、現時点での状況は。

市長 処理方法の方針など一定の進捗を見ている。

質問 昭和記念公園昭島口の拡張整備について、現段階での整備方針等は。

市長 新昭島口ゲートなど、3つのエリアの再整備の方向性が示されている。

質問 市内外に向け、子育てしやすいまちをアピールしていくべき。考えは。

市長 子育て世代が魅力を感じられる、効果的な周知方法について検討していく。

質問 運動施設について、施設整備の検討と既存施設の改修、複合化など早急な検討を進めるべき。考えは。

市長 拝島公園プール跡地の整備など、運動施設の再編について効率的な運営手法等の検討を進めていく。

質問 市内外に向け、子育てしやすいまちをアピールしていくべき。考えは。

市長 子育て世代が魅力を感じられる、効果的な周知方法について検討していく。

質問 運動施設について、施設整備の検討と既存施設の改修、複合化など早急な検討を進めるべき。考えは。

市長 拝島公園プール跡地の整備など、運動施設の再編について効率的な運営手法等の検討を進めていく。

質問 市内外に向け、子育てしやすいまちをアピールしていくべき。考えは。

市長 子育て世代が魅力を感じられる、効果的な周知方法について検討していく。

質問 運動施設について、施設整備の検討と既存施設の改修、複合化など早急な検討を進めるべき。考えは。

市長 拝島公園プール跡地の整備など、運動施設の再編について効率的な運営手法等の検討を進めていく。

日本共産党昭島市議団

1面下段より

質問 令和6年度は財政調整基金を約22億円取り崩しているが、市民サービス充実のため、更に取り崩し様々な施策を実施すべき。

答弁 主に人件費や諸物価の高騰に対応するため取り崩すものであり、中長期的に見通しを持って予算案を提案している。

質問 高齢者の補聴器購入への補助事業は評価するが、住民税非課税世帯の方のみを対象とすることである。高齢者全体の購入助成に踏み出すべき。

答弁 補助対象は原則、住民税非課税の方と都から示されている。所得要件については、都に確認しながら定めていきたい。

都民ファーストの会・立憲民主党昭島市議団

3面下段へ続く

質問 敬老金の支給は、基準日に対象年齢に達していることが条件だが、対象年齢を迎えても基準日以前に亡くなった場合は支給されない。条件の見直しを。

答弁 どのような対応が可能か、検討していく。

質問 PFASの汚染対策について、①PFAS含有泡消火剤の使用の有無について、市の施設の総点検が必要では。②発生源を特定するための調査を都などに求めていくべき。

答弁 ①公共施設においては、改めて総点検を実施したい。②市長会を通じて、引き続き都に原因究明を求めていきたい。

質問 都市計画について、市民の意見や考えを事業者の開発計画に反映できるように、まちづくり条例を制定すべきでは。

答弁 他市にはない都市開発対策審議会もある。その活用を含め本市としてふさわしい対応を検討中である。

質問 教育関係について、①拝島中学校のジャージ着用の登校禁止などは、生徒の意見を踏まえて行うべき。②学校として判断する際には、生徒たちの意見を尊重し学校運営をすべき。

答弁 ①運用の中で生徒等から意見が出た際、丁寧に対応するよう指導していく。②生徒の声を聞くことは大切だが、学校の方針や姿勢を示すことも大切と考える。

質問 ウクライナ避難民の方への生活費助成など、どのような支援をしているか。

答弁 都が住居の無償提供等をしているほか、市はこみ袋の提供やAバスを無料利用できるようにしている。

質問 自治会加入率を下げない工夫が必要。DX化に向けて取り組む考えは。

答弁 他自治体の取り組みを参考に、SNSの活用を検討していきたい。

質問 障害者に対する相談

市政を

GLP物流施設計画について 発生交通量抑制の具体的考えは



日本共産党昭島市議員
佐藤 文子 議員

質問 国政において、政治資金パーティーをめぐる裏金事件が深刻である。真相解明と責任を明確にし、企業・団体献金を禁止すべきと考えるが、認識は。

市長 企業・団体献金について、様々な意見や指摘があるものと承知しているが、国会において十分な議論がなされ、判断されるべきであると考えている。

質問 予算編成にあたり、

②豊かな自然を破壊し物流施設に変貌させることは気候危機対策にも逆行するものである。公有地化する可能性を最大限追求すべき。

市長 ①可能な限りの抑制を引き続き強く求めていく。

②仮に公有地化が可能となった場合でも、市の財政規模等を考えると購入は困難である。代官山の樹林地を保全すべく、地区計画等緑地保全条例の制定に向け検討をしている。

質問 有機フッ素化合物（PFAS）汚染対策について、都や関係自治体とともに、国に対する直接の働きかけを強めるべき。

市長 国の動向を注視するとともに、都市長会を通じて都へ多摩地域における汚染実態の原因究明及び対策などについて、要望していく。

質問 これまで食料費補助の増額など求め続けており、学校給食無償化は高く評価するが、無償化の意義は。

市長 物価高騰の影響を受ける子育て世帯を経済的側面からサポートする効果的な支援策と考える。

質問 介護職員やヘルパーなど、人材確保のための予算を大幅に増額すべき。

市長 どのような取り組みが効果的で可能か検討する。

質問 基金を取り崩しての介護保険料の引き下げは、次期での大幅な引き上げが否めない。国に国庫負担の増額を強く要求すべき。

市長 市長会などを通じて、継続して要望に努めていく。

質問 平成29年に市内の中学生が自殺した事態を、どのように捉え、今後の行政運営に反映させるのか。

市長 いじめ防止対策推進法及び昭島市いじめ問題

の調査に関する条例に基づき、厳格に対応していく。

質問 気候非常事態宣言に基づき、具体的な行動計画をつくる必要があるのでは。

市長 環境基本計画において、市民、事業者の行動指針として、環境配慮指針を定めている。

質問 ハラスメントなどを根絶するため、アクティブ・バイスタンダーの取り組みについて、周知・啓発を。

市長 役割の重要性の認識も含め、どのようなことが可能か調査・研究していく。

質問 オスプレイの構造的欠陥は明らかで、飛行再開を許さず、国内の配備機全てを撤去すべき。見解は。

市長 安全性が確認されるまで運用を再開しないこと等を国や米側へ求めており、都や基地周辺市町と連携し、強く要請を重ねていく。

2面下段より

支援事業が課税事業である旨、国から通知が出た。事業者課税に対して、考えは。

答弁 税務署や顧問弁護士などと相談し、方向性を確認した上で対応していく。

質問 高齢者電話訪問相談事業について、テレビ電話の活用などにより、利用者を増やす考えは。

答弁 相談内容の秘匿性も必要なことから、総合的に勘案し調査・研究していく。

質問 点字ブロックについて破損があった際、即応することができるとの。

答弁 今後、市内全域の点字ブロックについて調査し、計画的に補修を行っていく。

質問 放課後子ども教室について、学習アドバイザーが有益との声を聞く。週に何時間勤務しているのか。

答弁 配置している学校では週に1名、4時間を限度に配置している。

質問 国から借りている学校用地について、借地料を取らないように国へしつかりと要請すべき。考えは。

答弁 新たに全国都市教育長協議会などを介して、国へ働きかけを行っている。

質問 学校にある散水用井戸の使用は、PFASの問題もあり安全確認が取れるまで、慎重に考えるべき。

答弁 井戸水は散水用として使用しており、基本的には人体に影響するような運用は考えていない。

質問 学校体育館等の施設予約について、空き状況や予約状況をインターネットで分かるようにする考えは。

答弁 予約システムを導入するにあたり、一定の課題がある。学校とも相談しながら検討していきたい。

みらいネットワーク

質問 職員のメンタルヘルスケアについて、①休職者を減らすための取り組みは。

②ワーク・ライフ・バランスを確立し、市民サービスの充実に向けた取り組みは。

答弁 ①産業医や保健師とも連携しながら様々な対応を図っていく。②休暇が取りやすい機運を、管理職を中心に醸成していきたい。

質問 一部の学童クラブの運営が新規事業者に移管されるが、どのように質を担保していくのか。

答弁 研修等の実施を要請するなど、事業者と引き続き丁寧に行っていく。

質問 資源ごみ選別等業務委託などで、燃料費等が高騰している部分をどのように予算に反映しているのか。

答弁 社会経済状況や燃料費、暑熱対策なども加味して委託料を計算した。

質問 防災対策について、授乳支援の方針や授乳のアクセスメントシート、避難所での子どもの居場所の確保などは、避難所運営委員会で共有し定期的に確認すべき。考えは。

答弁 見直しを行った地域防災計画を基に、今後様々なことを検討していく。

質問 道徳教育や人権教育も重要だが、子どもの権利についても学校教育で行うべき。考えは。

答弁 子どもの権利を大前

令和6年度施政方針、教育施策 推進の基本的考え方について



昭島市議員
市長 小嶋 一彦

質問 能登半島地震の後、災害協定を結んでいる市内事業者と連携して、穴水町製造業や卸売業など11事業者と災害時における食料・飲料水等の調達の協定を結んでいる。引き続き必要な場合を想定し、食料品を取り扱うスーパーなどをはじめ、幅広い事業者と災害協

定を締結する考えは。

市長 小嶋 一彦 市長 小嶋 一彦 市長 小嶋 一彦

質問 物価高騰への対策について、好評である水道料金・下水道使用料減免事業の継続を検討しては。

市長 財源の確保に努める中で、地域経済の好循環や地域の活性化につなげるた

め、幅広い事業者と災害協

市長 財源の確保に努める中で、地域経済の好循環や地域の活性化につなげるた

質問 行政DXの推進について、都が人材共有のために設立したGovTech東京を活用する考えは。

市長 市区町村の課題解決に資する事業となるよう都へ意見を伝えるとともに、活用も検討していく。

質問 コミュニティ活動の推進について、市公式のLINEアカウントから自治会活動の情報を入手できるような仕組みを考えては。

市長 新たなコミュニティの在り方を検討すべき時期と考えており、SNSなどの活用も含め検討していく。

質問 文化芸術・スポーツの振興を図るまちについて、昭和公園テニスコートの人

工芝化や拝島公園プール跡地等整備を今後どのように検討していくのか。

市長 地域の運動施設の再編に係る様々な課題に対応するため、組織的な対応を図っていく。

質問 学校教育について、①教員の抱い手不足は教育の質の低下にもつながる。

市長 都が方針を変えず継続的に補助を行うよう、市長会等を通じて引き続き要望していく。

質問 学校運営協議会（コミュニティ・スクール）について、メンバー構成はどのように考えているのか。

教育長 ①引き続きスクールインターナシップや教育支援員などの機会を通じて、教職の魅力をじかに感じら

市政を問う

代表質問
(要旨)

令和6年度昭島市行財政運営の全般について問う



みらいネットワーク
青山 秀雄 議員

質問 市長就任以来貫き続

けてきた現場主義、市民本位の市政にあたる点があるが、具体的にどのように取り組んでいくのか。

市長 飛耳長目をモットーに課題の本質を自ら見極め、魅力ある市の未来に向けて全力で取り組んでいく。

質問 オスプレイの飛行再開について、徹底した墜落の原因究明、実効性のある安全対策、情報公開を求め

るべき。

市長 昨年11月の事故直後に都と周辺市町連絡協議会として要請を行い、12月に改めて口頭要請を行った。

質問 市民サービスの充実には市職員の健康問題は欠かせない。ワークライフ・バランスに関する見解は。

市長 職員が健やかな状態で職務に取り組める職場環境を整えることが、市民サービスの充実に結び付くと

捉えている。

質問 契約事務について、他自治体での官製談合事件が後を絶たない。官製談合の防止を徹底すべき。

市長 日頃より、公正公平な契約事務の執行について示達している。引き続きき然とした態度で契約事務を執行していく。

質問 横断歩道等の標示が消えている箇所が多くある。事故防止のため早急に補修し、安全対策を強化すべき。

市長 交通管理者及び道路管理者が連携して計画的に整備を実施し、適正な交通安全対策に努めていく。

質問 補聴器購入費用の助成を高く評価する。制度の具体的な内容は。

市長 購入費用の一部を助成するもので、都補助金を活用し、関係機関とも連携・協議しながら実施していく。

質問 駅周辺での受動喫煙による苦情が今なお続いている。駅周辺を全面禁煙にすべき。

市長 たばこを吸わない人にも理解される喫煙マナーの向上に向け、引き続き啓発活動を強化していく。

質問 昭島駅北側の大規模開発計画について、市民から交通量の問題や環境の変化に対する懸念の声が多い。市民の住環境を守る立場として、対応は。

市長 まだまだ確認や協議が必要だと捉えている。引き続き関係機関とも連携し、事業者と積極的に協議を行っていく。

質問 給水スポットを庁舎敷地内に設置することは評価する。設置されていない拝島駅北口等にも設置を検討すべきでは。

市長 新たな設置について

は、利用状況やPR効果等を把握した上で、財源等の課題も整理しながら総合的に判断していく。

質問 教職員のメンタルの不調による休職者が増加している中、長時間労働は依然改善されていない。教職員の人権を保障すべき。

教育長 教員の処遇改善についで、国から一定の方向性が示される予定である。その動向を注視し、働き方改革を一層推進していく。

質問 市内で発生した女子生徒の自殺問題について、再発防止と教育現場全体への共有について、対応は。

教育長 今年1月に学校いじめ対策の日を設け、教員の対応力向上など、いじめへの対応を確実に実施するポイントを教育委員会と全校とで確認し、適切な対応の強化を図っている。

3面下段より

提に、日々の教育活動を進めている。

質問 介護分野の人材不足が深刻である。事業者への支援策として、初任者研修を実施する考えは。

答弁 都の補助事業等の動向を注視しながら、引き続き調査・研究していく。

無会派

質問 雇用労働相談について、1名の社会保険労務士で対応しているが、他の方も検討すべきでは。

答弁 長く本職務に従事し、幅広い知識を持っており、令和6年度も同じ方にお願

いしたいと考えている。

質問 課外活動振興事業費について、部活動指導員等への報酬を増額しているが、どのような調査をしてこの

ような結論に至ったのか。

答弁 生徒の技術向上の満足度、教員の負担軽減等について調査した結果、両者に効果があると把握できたため、増額した。

質問 公衆便所清掃・消毒委託について、公園維持管理経費で327万円、児童遊園維持管理経費で142万円の増額となっているが、要因は。

答弁 市内全域の公園等のトイレに、トイレトパー

パーを設置する委託料などが含まれているため。

質問 校内別室指導支援員配置事業について、全ての中学校への配置が必要と考える。市内小・中学校5校に配置とあるが、1校

に対して1名の配置なのか。

答弁 各校によって様々であり、複数名で対応する学校もあると想定している。

令和6年度 施政方針 (要旨)

■市政運営の基本方針

市制施行70周年の節目を新たなスタートと捉え、市の一層の飛躍に向け取り組みます。また、友好都市協定締結10年目となる岩手県岩泉町と、一層関係を深めていきます。

ロシアによるウクライナ侵攻など、痛ましい状況を思うと憂慮に堪えません。今後も戦争のない平和な世の中の実現に向け、一歩一歩着実に歩みを進めます。

横田基地所属のオスプレイ墜落事故に関して、本市

としても重く受け止めています。引き続き都や周辺市町と連携し、諸課題の解決に向け取り組みます。

能登半島地震の被災地域の1日も早い復興をお祈りいたします。災害対応から得た経験を教訓として本市の災害対策に活かし、自然災害に備えます。

子どもが健やかに育つまち、子育てしやすいまちとしての歩みを一層加速し、まちの活性化、少子化対策にもつながるよう、全庁で連携して取り組みます。

2050年カーボンニュートラル実現に向け、引き続き温室効果ガスの削減に取り組みとともに、まちづくり企業サミットで頂いた

持管理に努めます。

令和6年度

教育施策推進の 基本的考え方 (要旨)

教育委員会と市長部局とが強固に連携し、昭島市の教育を推進します。

SDGsを関連させた学習を展開し、持続可能な社会づくりに主体的に貢献できる「たくましい昭島っ子」の育成に努めます。併せて、児童・生徒、先生が楽しいと実感できる学校づくりを進めます。

また、家庭や地域の教育力を高める多様な学習活動やスポーツ、文化芸術等、市民の自主性を尊重した生涯学習を推進します。

また、家庭や地域の教育力を高める多様な学習活動やスポーツ、文化芸術等、市民の自主性を尊重した生涯学習を推進します。

※施政方針及び教育施策推進の基本的考え方の詳細は、市ホームページなどをご覧ください。

令和6年度 会計別予算額及び議決結果

区 分		予 算 額	前年度比	議 決 結 果
一 般 会 計		506億7300万 円	3.2%増	原案可決(賛成多数)
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険	121億9500万 円	1.9%減	原案可決(全会一致)
	介 護 保 険	99億6487万5千円	3.7%減	原案可決(全会一致)
	後 期 高 齢 者 医 療	31億3417万8千円	7.0%増	原案可決(賛成多数)
	中神土地区画整理事業	3億8512万7千円	15.2%増	原案可決(全会一致)
	中神駅北側地域整備事業	12億2453万6千円	30.0%増	原案可決(全会一致)

水道事業会計	適 用 科 目	収 入		支 出	
		予 算 額	前年度比	予 算 額	前年度比
	収益的収入及び支出	20億3821万8千円	4.2%増	18億7269万7千円	5.3%増
	資本的収入及び支出	1015万9千円	10.7%増	8億6140万8千円	30.2%減
	議 決 結 果	原案可決(全会一致)			

下水道事業会計	適 用 科 目	収 入		支 出	
		予 算 額	前年度比	予 算 額	前年度比
	収益的収入及び支出	25億1087万6千円	1.0%増	23億7243万8千円	1.6%増
	資本的収入及び支出	5億4644万5千円	78.4%増	12億7412万7千円	27.3%増
	議 決 結 果	原案可決(全会一致)			

質問 水と緑が育む昭島について、深層地下水100%の水道水は全国に誇れる行政サービスであると考え、多摩川やその他の用水、分水など水環境への市の基本的な考えは。

答弁 近年の地球温暖化に伴う河川や湧水への影響など、水環境の対策は急務と認識している。引き続き恵まれた水と緑を守り、創る取り組みを推進していく。

質問 市は、乳児から高齢者まで様々な予防接種事業を行っているが、①相互乗り入れ実施市の拡充はできないのか。②子宮頸がん予防ワクチンの種類は2価・4価・9価とあるが、選択の基準を説明すべきでは。

答弁 ①必要を取り組みと認識しているが、各医師会の合意形成が得られていない。引き続き関係機関との協議に努めていく。②市ホームページへの掲載とともに、接種を行う医師との相談し、総合的に検討する。

質問 学校教育について、従来の画一教育では同調圧力・正解主義につながる課題がある。また、激変する社会を生きる必要な力を身につけるためにも、個別最適な学び・協働的な学びの充実を図るべき。考えは。

答弁 各学校とも個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実し、学びに向かう力などを育成するための授業改善に取り組んでいる。

質問 孤立化が進む社会状況の中で、顔が見え助け合える関係性の構築は防災対策に限らず喫緊の課題である。公園等のかまどベンチ・マンホールトイレについて、①設置場所を市民へ公開すべき。②被災

質問 リチウムイオン電池の処理について、都内のみ処理施設で火災があったが、①市では対策が出来ているのか。②有害ごみとして収集した後の処理方法は。

答弁 ①対策を強化するため、環境コミュニケーションセンター内にスプリンクラーを増設する予定である。②環境コミュニケーションセンター内に保管した後、外部のリサイクル施設に搬出し、処理している。

質問 既に燃料電池車等を導入するなど、市の環境負荷低減への取り組みを評価しているが、①相互乗り入れ実施市の拡充はできないのか。②子宮頸がん予防ワクチンの種類は2価・4価・9価とあるが、選択の基準を説明すべきでは。

答弁 ①必要を取り組みと認識しているが、各医師会の合意形成が得られていない。引き続き関係機関との協議に努めていく。②市ホームページへの掲載とともに、接種を行う医師との相談し、総合的に検討する。

一般質問（要旨）



おさんぽ中に、はいち〜ず!
(多摩川の土手)

質問 子どもたちが安心して過ごせる街に向け、①兄弟で同じ保育園に申し込んだが、別々の園への入所となり困ったとの声を聞く。このような多子世帯の入所状況と調整指数を上げる考えは。②民間学童クラブの誘致に対する考えは。また、放課後子ども教室との一体的な運営について、進捗状況は。

答弁 ①令和6年度の入所申請において、20人が兄弟姉妹と同一園への転園を希望し、4人が希望どおりに転園することができた。調整指数については、他市の状況等も含め、調査・研究をしていく。②待機児童の状況に注視し、学校等の関係機関と連携を図る中で、民間学童クラブや放課後子ども教室との一体的な運営について、進捗状況は。

質問 ①令和6年度の入所申請において、20人が兄弟姉妹と同一園への転園を希望し、4人が希望どおりに転園することができた。調整指数については、他市の状況等も含め、調査・研究をしていく。②待機児童の状況に注視し、学校等の関係機関と連携を図る中で、民間学童クラブや放課後子ども教室との一体的な運営について、進捗状況は。

答弁 ①令和6年度の入所申請において、20人が兄弟姉妹と同一園への転園を希望し、4人が希望どおりに転園することができた。調整指数については、他市の状況等も含め、調査・研究をしていく。②待機児童の状況に注視し、学校等の関係機関と連携を図る中で、民間学童クラブや放課後子ども教室との一体的な運営について、進捗状況は。

質問 人材マネジメントについて、行政需要がますます高度化・多様化・複雑化する予想される中、今後の社会情勢の変化に対応できる人材の確保の取り組みは。

答弁 職務経験や専門知識を有する者の採用区分等を検討し、受験者を増やす取り組みを進めるとともに、任期付職員等の多様な人材の確保・活用に努めていく。

質問 業務を円滑に遂行するために、部署・業務に合わせた人材育成やキャリアアップ研修等、DX人材を推進していく。

答弁 ①発生抑制度を再考すべき。②地区計画は都市計画マスタープラン等上位計画に即し策定するが、制限内容は地権者の理解を得る必要がある。

質問 ①4年度は63.6%となるなど、取得状況は増加傾向である。引き続き育児休業取得しやすい職場環境の整備に努めていく。②相談窓口であるマザーズハローワーク立川や女性しごと応援テラスを紹介するなど、周知に努めている。

質問 災害対策について、要配慮者が事前に自らの情報が事前に必要な医療情報を入れるアプリの使用や避難行動要支援者名簿をDX化するなど、災害時の情報収集を進めるべき。考えは。

答弁 避難行動要支援者個別支援計画の作成に向け、情報提供や情報共有の在り方について、DX化の視点も含め、検討を進めていく。

質問 ①市が率先して男性の育児休業取得を推進すべきだが、市職員における取得率と取り組み状況は。②就職氷河期の女性に対する支援の状況は。

答弁 財を育成するための今後の取り組みは。②就職氷河期の女性に対する支援の状況は。

質問 意向調査書の導入によりライフステージに合わせた多様な働き方が可能となるよう、検討する。また、職員のやる気と能力向上の質問

答弁 AIなどの先端技術を活用し、住民等の利便性の向上、自治体の人的・財政的負担の軽減を図るスマート自治体の実現に向け、

質問 具体的な取り組みは。②地区計画は都市計画マスタープラン等上位計画に即し策定するが、制限内容は地権者の理解を得る必要がある。

令和5年度予算の補正状況			
一般会計補正予算(第7・8号)			
当初予算	491億	円	
前回までの補正額	57億5519万4千円		
今回補正額(第7号)	20億1880万	円	
今回補正額(第8号)	2億3540万	円	
予算総額	571億	939万4千円	
後期高齢者医療特別会計(第2号)			
当初予算	29億3027万6千円		
前回補正額	8928万1千円		
今回補正額	4104万	円	
予算総額	30億6059万7千円		
中神駅北側地域整備事業特別会計(第1号)			
当初予算	9億4200万2千円		
今回補正額(減額)	9300万	円	
予算総額	8億4900万2千円		

討論

**令和6年度当初予算を可決とする
委員長報告について**

一般

反対

賛成

自由民主党昭島市議員 三田 俊司 議員
初めて500億円を超える予算規模の中、市民総合交流拠点施設整備事業や学校給食費の無償化、生成AIサービスの導入等、様々な施策を積極的に推進している。また、市制施行70周年の施策としてくじら祭等の拡充など、目指すまちづくりに向け歩みを進める、未来志向の予算と認識している。基金の確保、市債の活用をバランスよく行いつつ、6面下段へ続く

質問 医療的ケア児について、①市独自で作成したりトルベビーハンドブックに当事者の声は反映されているのか。②当事者への寄り添った対応が大切と考える。家族に話を聞くなど、直接モニタリングする機会を作っては。

答弁 ①当事者の声を踏まえて作成した他自治体を参考に、市独自のサービスを追記するとともに、当事者の意見も参考に作成した。②今後の関係者会議でニーズを把握し、適切な支援体制の構築に努める。



医療的ケア児点字ブロック
GLP昭島プロジェクト

無会派 なかおフミヒト 議員

既存の製品とは別のシートに張り替える予定である。

質問 GLP昭島プロジェクトについて、①都市計画マスタープランにふさわしい地区計画となるよう、市民の声を聞き、再検討を行う考えは。②つじが丘ハイツ向かい側の壁面後退は、車の出入りが多い駐車場入

答弁 ①教育系大学の教授等が授業力向上を図るための講義を行うとともに、教員の授業観察を実施し、それぞれの振り返りを踏まえた指導・助言をしている。

一般質問（要旨）



みんなで花見（エコ・パーク）

質問 玉川上水南側地区地区計画について、周辺住民の利益を守る法的な枠組みがない。公的な決定である地区計画の策定が、特定の社会的な利益集団の意向に基づいて行われることは民主主義に反する。

答弁 ①制限できる項目は都市計画法により規定されているため困難だが、検討を深めていく。②複数の地権者がいるため、小規模な敷地においても実現可能な制限としている。③開発に伴う影響を総合的に捉え、事業段階関係市長として責任を持って意見していく。



玉川上水南側地区
地区計画について問う

日本共産党昭島市議員 大野ふびと 議員

玉川上水南側地区地区計画に即した内容でなければならず、開発事業は事業者が責任を持つ見直しを行っている。

質問 玉川上水南側地区地区計画に即した内容でなければならず、開発事業は事業者が責任を持つ見直しを行っている。

答弁 ①多摩川河川敷の堤防は重要な治水施設であり、市域の運動施設の在り方に影響を及ぼす可能性がある。緊急時は作業車両等の通路としての役割もあることから、宮沢広場にある木製の遊具が老朽化しており、安全とは言えない状況にある。

質問 スポーツ施設の充実について、ロッカーや休憩所等の機能を持つランニングステーションは、運動する人だけでなく市民の憩いの場としても活用できる。

答弁 ①多摩川沿いへ設置しては。②休業中の市民プールを転用する考えは。



スポーツ・レクリエーション
施設の充実について

自由民主党昭島市議員 美座たかあき 議員

市制施行70周年記念事業として、①市を語る際に欠かすことのできない人物に対し、名誉市民の称号を贈つては。②市にゆかりのある著名な方を観光大使に選任し、盛大に市をPRしてもらう考えは。

質問 令和6年度に実施を予定している給食費無償化は、将来の国を担う子どもたちが恒久的に享受できるべきと考える。7年度以降の見通しと展望は。

答弁 都市長会を通じて都に補助の継続を要望していくとともに、国の動向にも注視しながら判断していく。



給食費無償化の
恒久的な実施について

無会派 永井みつる 議員

給食費無償化の恒久的な実施について、部活動は現状のまま外部人材による指導になる中で、場所や財源の確保に努め、柔軟な対応を検討している。

賛成 進が図られるよう期待し、本予算に賛成する。

賛成 市税の減少が見込まれる中、子どもの医療費助成制度における完全無償化、給食費の無償化が実現し、必要となる予算を充てた積極的な予算編成となつていくことを評価する。

賛成 子どもの医療費助成の拡充について評価する一方で、保育所等の待機児童の解消に向け、引き続き子育て支援の環境整備を要望する。

賛成 学校給食費無償化事業や公園等の公衆トイレの整備など、子育て世代のために多くの施策が実現しており、本予算に賛成する。

賛成 市職員の賃金アップや介護保険料の基準額引き下げ、学校給食費の無償化の取り組みを高く評価する。

賛成 市制施行70周年記念事業として、給水設備の増設、市役所、昭島駅等の水辺の改修等の予算計上など、水のまち昭島としてのブランディングに期待したい。

賛成 独自の要請を求め、GLP昭島プロジェクトに対する市民の安全安心、生物や地球環境の保全を図ることは次世代への行政の責務である。市民参画の機会を更に充て足させ、市民と行政と市議会が対等な関係で地方自治を推進することを求め、本予算に賛成する。

反対 今回の改定は均等割額が1人当たり900円増となり、かつてない値上げ幅である。国や都において財政補完をすべき。

賛成 以上、制度発足から自動的に保険料値上げの仕組みとなつている制度そのもの上がる仕組みとなつていく。

質問 ワクチン接種について、①13歳未満のインフルエンザワクチン接種を都の補助を活用して全額無料にすべき。考えは。②男性へのHPVワクチン接種助成の制度の創設について、今後の対応は。

答弁 ①保護者の就労時間等に応じた選考指数と、世帯状況に応じた調整指数を合算した実施基準指数の高順に利用を決定している。一定の生活用水を確保できているが、今後も多角的に調査・研究していく。



互いに支えあい
尊重し合うまちについて
公明党昭島市議団 大島ひろし 議員

質問 ①多摩26市で本市のみが1回1千500円で接種ができる。どのような対応が可能となるか検討する。②必要性は認識しているが、まずは女性へのキャッチアップ接種等の着実な推進に努めていく。

答弁 ①必要性は、学年・学級経営に係る業務全般の補助などを行う。②地震対策について、一般社団法人が実施する「みんな元気になるトイレ」に参加し、トイレトレーニングを活用する考えは。③災害用浅井戸を公園等に拡充することについて、今後の展開は。

一般質問 (要旨)



2人でスマイル!
(エコ・パーク)

質問 市制施行70周年における平和への取り組みについて、①市民が地球全体の問題を身近な問題として意識する決意を深めるため、平和への宣言であるグローバル市民宣言を行うべき。②悲惨な戦争をより認識するため、展示会等の開催についての考えは。

答弁 ①平和の大切さを考えるきっかけとなる取り組みと考える。その趣旨を十分に踏まえて様々な手法を検討し、平和事業の充実にも努めていく。



市制施行70周年の
取り組みについて
公明党昭島市議団 吉野智之 議員

質問 行政DXの推進について、職員の負担軽減のため窓口業務をAI化する、AIで対応できない場合に職員で対応する方が効率的と考えるが、団員がいち早く出動できるよう、拡充を検討すべきでは。②将来の団員確保の観点からも、消防団の活躍を広く市民に顕彰する場を設けては。

答弁 ①行政の垣根を越え、現在は出火報確認と同時に消防署から直接団員へ配信を努めていく。

質問 未来を担う若者への支援について、居住自治体への定住や就職など一定の条件を満たせば、自治体や企業が奨学金の返済を支援する奨学金返還支援制度は、若者の負担軽減になるとともに、地方定着にもつながる。実施する考えは。

答弁 都の取り組みや先行自治体の動向を注視するとともに、市の産業構造や企業運営の状況等を見極める中で、調査・研究していく。



未来を担う
若者への支援について
公明党昭島市議団 松原亜希子 議員

質問 都の不登校生徒は10年連続で増加しており、不登校対応は急務となっている。①市内の不登校児童・生徒数は。②教育支援室たまたがわ教室・もくせい教室の利用日数などが制限されることはあるのか。③今後の支援の展望は。

答弁 ①令和6年1月末時点で小学生125名、中学生167名となっている。②現在の館は一定の整備が進んでいない。また、児童の状況に合わせた個別に対応している。現時点で詳細は不明だが、都の動向を注視し研究する。



多様な学びを認め
尊重し合えるまち昭島へ
都民ファーストの会・
立憲民主党昭島市議団 ひえのたかゆき 議員

賛成 6面下段より
の無慈悲さの下、保険料の更なる値上げが行われた本予算に反対する。

賛成 自由民主党昭島市議団
安保 満 議員

保険料は前年度比で約2億400万円の増となっているが、被保険者の更なる増加が見込まれる中で、東京都後期高齢者医療広域連合が独自軽減策を継続実施するため、本予算に賛成する。

反対 日本共産党昭島市議団
大野 ふびと 議員

児童福祉法等で市町村の事業とされる学童クラブを民間に委ねるのは公的責任の放棄と言わざるを得ない。民設民営の学童クラブは、事業者が撤退するリスクや、保護者の経済力によって自主事業を利用できない児童が発生するなど、様々な懸念が伴い、議論が不十分であり、事業者の選定プロセスも不透明で問題がある。また、支援員の確保が困難であれば賃金や労働条件の大幅な改善を図るべき。以上、本条例に反対する。

本会議インターネット中継をご覧ください

市議会では、より身近に議会の活動を知っていただくため、本会議の映像をインターネットで配信しています。パソコン・スマートフォンなどからご利用いただけます。

昭島市議会ホームページよりご利用ください。

○ライブ中継
本会議の開催中に配信

○録画 中継
本会議の各開催日の概ね5日後
(土・日・祝日を除く)の午後から配信



質問 土地利用規制法により横田基地の周囲概ね1キロメートルを特別注視区域に指定し、区域内にある土地及び建物の利用に対して調査や規制ができることになった。①指定が見込まれる区域の実情を把握するために行われた、市への意見聴取の具体的な内容は。②都と周辺市町連絡協議会は、内閣府に対し、土地利用規制法についての住民説明会の実施を求めるべき。

答弁 ①区域の外縁近傍における地形図に反映されていない道路や、将来の市街化等が見込まれる開発計画に関することなどである。②地域住民や事業者に対し、国の責任において丁寧に説明するよう求めている。

質問 介護人材の確保に向けて、行政主導で無料の初任者研修の開催や資格取得費用補助を実施する考えは。③都の補助金を活用し、研修受講料の補助を行う等、状況等を注視していく。

答弁 関係機関と連携を図る中で、他市の単価の動向や事業所における人材確保の状況等を注視していく。

質問 GLP昭島プロジェクトに係る交通課題について、市民の安全確保のため、車両の発生台数を抑制させる物流倉庫の規模の縮小など、踏み込んで事業者へ要請すべき。

答弁 車両の発生抑制等の対策が必要との要請を、令和4年11月10日と5年11月24日に事業者に行った。また、事業者も市の意向を一定程度理解しており、出来る限りの検討をしている。

請 負 契 約

請 願 ・ 陳 情

件 名	昭島市立昭和中学校除湿温度保持機能復旧工事請負契約
契約内容	契約金額：445,500,000円 工 期：本契約成立の日の翌日から令和7年3月24日まで 請負業者：株式会社福島工業所

件 名	市民総合交流拠点施設建設工事（電気設備工事）請負契約
契約内容	契約金額：257,400,000円 工 期：本契約成立の日の翌日から令和7年8月29日まで 請負業者：中央電設株式会社東京支店

陳 情	件 名	提 出 者	審 査 委 員 会 審 査 結 果	本会議の 審議結果
	地下水100%の水道水を安心して飲み続けるため早急なPFAS対策をもとめる陳情	地下水100%の昭島の水道水を飲み続けたい市民の会 代表	建設環境委員会 不採択	不採択

会議録をホームページで
閲覧できます

会議録検索システムにより、平成7年5月から令和6年1月までの本会議会議録、委員会記録、協議会記録をご覧になれます。パソコン・スマートフォンなどからご利用いただけます。

なお、令和6年第1回定例会の記録は5月下旬に掲載する予定です。

昭島市議会ホームページよりご利用ください。



反対
みらいネットワーク
林 まい子 議員

陳情項目はいずれも非常に重要な問題提起と考える。水源井戸等の調査地点を現状の3か所にとどめず、更なる詳細把握に主体的に取り組むべき。

また、PFASの除去方法の情報収集に努めるとともに、今後規制の可能性のある物質も必要に応じ検査対象として検討すべき。加えて、国等と連携し汚染の原因究明に努めるべき。以上の理由から、本陳情を不採択とする委員長報告に反対する。

請 願 ・ 陳 情 の 提 出 方 法

市民のみなさんが、日頃考えている意見や要望を誰でも市議会に提出することができます。議員の紹介のあるものが請願、ないものが陳情です。議会に提出された請願等（陳情で内容が請願に適合するものを含む）は、担当委員会で審査されます。なお、請願・陳情者の署名があれば押印は不要です。

請願等の書式(例)

〇〇〇〇に関する請願
(紹介議員がないものは陳情)

請願(陳情)の要旨

紹介議員
〇〇〇〇印

年 月 日
(あて先)昭島市議会議長

請願(陳情)者
住所 〇〇〇〇
氏名 〇〇〇〇印
電話 〇〇〇〇

討 論

反対
日本共産党昭島市議員
奥村 博 議員

多摩地域の市民団体による血中濃度検査で高濃度者が続出している状況等から、市内の汚染の現状把握と汚染源特定を急務とする陳情の指摘は重要である。

住民の不安の解消のために、独自調査を行う自治体もある中、深層地下水100%の水道水を安心して飲み続けるための対策をとってほしいとの切実な要求である。理にかなった当然の要求であり後押しすべきと考え、本陳情を不採択とする委員長報告に反対する。

また、PFASの除去方法の情報収集に努めるとともに、今後規制の可能性のある物質も必要に応じ検査対象として検討すべき。加えて、国等と連携し汚染の原因究明に努めるべき。以上の理由から、本陳情を不採択とする委員長報告に反対する。

地下水100%の水道水を安心して飲み続けるため早急なPFAS対策をもとめる陳情を不採択とする委員長報告について

提出案件と結果

○可決

- ▽令和6年度昭島市一般会計予算
- ▽令和6年度昭島市国民健康保険特別会計予算
- ▽令和6年度昭島市介護保険特別会計予算
- ▽令和6年度昭島市後期高齢者医療特別会計予算
- ▽令和6年度昭島市中神土地地区画整理事業特別会計予算
- ▽令和6年度昭島市中神駅北側地域整備事業特別会計予算
- ▽令和6年度昭島市水道事業会計予算
- ▽令和6年度昭島市下水道事業会計予算
- ▽令和5年度昭島市一般会計補正予算（第7号）
- ▽令和5年度昭島市一般会計補正予算（第8号）
- ▽令和5年度昭島市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）
- ▽令和5年度昭島市中神駅北側地域整備事業特別会計補正予算（第1号）
- ▽地方自治法の一部を改正する法律等の施行に伴う関係条例の整理に関する条例
- ▽昭島市新型コロナウイルス感染症対策基金条例を廃止する条例
- ▽昭島市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例
- ▽行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用並びに特定個人情報情報の利用及び提供に関する条例の一部を改正する条例
- ▽昭島市手数料条例の一部を改正する条例
- ▽昭島市中小企業事業資金融資条例の一部を改正する条例
- ▽昭島市特別職の職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例
- ▽昭島市介護保険条例の一部を改正する条例
- ▽昭島市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
- ▽昭島市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
- ▽昭島市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
- ▽昭島市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
- ▽昭島市国民健康保険条例の一部を改正する条例
- ▽昭島市学童クラブ条例の一部を改正する条例

▽昭島市地域型保育事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

▽昭島市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

▽昭島市保育の必要性の認定に関する条例の一部を改正する条例

▽昭島市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

▽昭島市子どもの医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例

▽昭島市下水道条例の一部を改正する条例

▽立川基地跡地広域行政機能地区建築条例の一部を改正する条例

▽昭島都市計画中神土地地区画整理事業施行規程の一部を改正する条例

▽昭島市立昭和中学校除濕温度保持機能復旧工事請負契約

▽市民総合交流拠点施設建設工事（電気設備工事）請負契約

▽東京都後期高齢者医療広域連合規約の一部を変更する規約

▽市道路線の廃止について（南181号）

▽一般表彰の被表彰者を定めることについて（2件）

▽（議員提出議案）オスプレイの飛行再開に関する意見書

○同意

▽昭島市副市長の選任につき同意を求めることについて

▽昭島市教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて

▽人権擁護委員候補者の推薦について

○受理

▽議会の指定議決に基づき専決処分した和解及び損害賠償額の決定に関する報告について（2件）

※令和5年度予算の補正状況は5面に、請負契約は8面に、人事・表彰は10面に詳細を掲載。

※陳情の審議結果は8面に詳細を掲載。

ご利用ください
声の市議会だより
点字市議会だより

目の不自由な方に、市議会の活動をよりよく知っていただくため、声の市議会だより・点字市議会だよりを発行しています。
ご希望の方は、議会事務局までご連絡ください。
※声の市議会だよりは、デジタル録音図書であるデージー版をCDにて提供しています。
電話 042-544-4476（直通）

本会議において賛否の分かれたもの ○は賛成 ×は反対

件名	会派名 ()内は議員数 議長は含まれない					無党派			採決の結果
	自由民主党昭島市議団	公明党昭島市議団	日本共産党昭島市議団	都民ファーストの会・立憲民主党昭島市議団	みらいネットワーク	(1)	(1)	(1)	
令和5年度昭島市一般会計補正予算（第7号）	○	○	×	○	○	○	○	○	可決
令和6年度昭島市一般会計予算	○	○	×	○	○	○	○	○	可決
令和6年度昭島市後期高齢者医療特別会計予算	○	○	×	○	○	○	○	○	可決
昭島市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	○	○	×	○	○	○	○	○	可決
昭島市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	○	○	×	○	○	○	○	○	可決
昭島市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	○	○	×	○	○	○	○	○	可決
昭島市学童クラブ条例の一部を改正する条例	○	○	×	○	○	○	○	○	可決
昭島市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	○	○	×	○	○	○	○	○	可決
地下水100%の水道水を安心して飲み続けるため早急なPFAS対策をもとめる陳情	×	×	○	×	○	×	○	×	不採択



副市長の選任について同意

任期満了に伴い、次の方を再任することについて、同意しました。

早川 修 氏
(八王子市在住)

教育委員会委員の任命について同意

任期満了に伴い、次の方を再任することについて、同意しました。

氏井 初枝 氏
(中神町在住)

人権擁護委員候補者の推薦について同意

任期満了に伴い、次の方を市長が法務大臣に推薦することについて、同意しました。

石井 登志枝 氏
(朝日町在住)

国営昭和記念公園昭島口周辺に関する要請

2月6日に、市議会として、国営昭和記念公園昭島口周辺における公園区域の拡張、整備について、国土交通省へ書面により要請しました。

また、同日、立川基地跡地昭島地区環境保全用地について、公園として整備、管理が行われるよう、関東財務局へ書面により協力を要請しました。

一般表彰

次の方を、昭島市表彰条例に基づく一般表彰者として定めることについて、議決しました。

寺村 豊通 氏
(立川市在住)

学校歯科医として、児童・生徒の保健衛生の向上に寄与されました。

小町 こよし 氏
(宮沢町在住)

保護司として、地域の社会福祉の向上に寄与されました。

会議の開催状況

定例会前

2月9日 総務委員協議会

13日 厚生文教委員協議会

14日 建設環境委員協議会

15日 議会運営委員会

16日 立川基地跡地利用対策特別委員会

19日 議会運営委員会

第1回定例会

2月27日・29日・3月1日 本会議

3月4日 議会運営委員会・本会議

5日 本会議

7日・8日・11日 予算審査特別委員会

14日 総務委員会・総務委員協議会

15日 厚生文教委員会・厚生文教委員協議会

19日 建設環境委員会・建設環境委員協議会

21日 基地対策特別委員会

26日 議会運営委員会・本会議・全員協議会

定例会後

4月12日 議会運営委員会

意見書

今定例会で次の意見書を可決しました。（全文掲載）

オスプレイの飛行再開に関する意見書

このたび、令和6年3月8日、米軍からオスプレイの運用停止措置を解除する旨、プレスリリースがあった。同日、日米共同でのプレスリリースの中で、国は、日本国内のオスプレイの運用再開のタイムラインについては、引き続き、日米間で緊密に連携し調整していくとのことではあるが、事故調査は現在も進行中であり、特定の部品の不具合が発生したことが墜落事故を起こした原因とされたものの、その根本原因は明らかにされていない。

令和5年12月15日、昭島市議会では、同年11月29日に発生した鹿児島県屋久島沖合での横田基地所属CV-22オスプレイの墜落事故を重く受け止め、CV-22オスプレイについて安全性が確認されるまで飛行停止措置を継続すること、原因究明を行い再発防止を図ることなどに関する意見書を議決し、関係機関に送付した。

墜落事故により、昭島市民はオスプレイの安全性に対する不安を更に募らせており、今回の国からの説明は、到底その不安を解消する内容とは言えない。

また、昭島市議会は毎年要請を行っている「基地周辺整備に関する要請書」において、基地運用上の安全対策はもとより、国による一層の周辺環境への負担軽減策が必要であるとしたうえで、常駐機及び外来機の市街地上空での飛行訓練を全面的に中止するよう、米軍への申し入れを求めている。こうした中、このたびのような不十分な説明をもって運用が再開されるなど、極めて遺憾である。

よって、昭島市議会は、市民の生命、財産、安全と平穏な生活を守る立場から、厳重に抗議するとともに、より詳細な事故原因や安全対策、再発防止策などを明らかにし、関係自治体に速やかに情報提供することを求める。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和 6年 3月26日

昭島市議会

(提出先)
防衛大臣、北関東防衛局長

これからの会議の予定 5月～7月

定例会前			
開催日	開催時間	会議名	場所
5月31日(金)	午前9時30分	総務委員協議会	会議室402・403
6月3日(月)		厚生文教委員協議会	
6月4日(火)		建設環境委員協議会	
6月5日(水)	特別委員会		
6月6日(木)			
6月7日(金)	午前9時30分	議会運営委員会	

第2回定例会

*インターネット中継を実施

開催日	開催時間	会議名	場所	
6月14日(金)	午前9時30分	本会議(一般質問)*	議場	
6月17日(月)		本会議(一般質問)*		
6月18日(火)		本会議(一般質問)*		
6月19日(水)		本会議(一般質問・議案上程)*		
6月21日(金)		補正予算審査特別委員会	会議室402・403	
6月24日(月)		総務委員会		
6月25日(火)		厚生文教委員会		
6月26日(水)		建設環境委員会		
6月27日(木)		特別委員会		
6月28日(金)				
7月2日(火)	午前9時	議会運営委員会	議場	
	午前9時30分	本会議(委員会審査報告・採決)*		

定例会後			
開催日	開催時間	会議名	場所
7月中旬	午前9時30分	議会運営委員会	会議室402・403

◇第2回定例会で審査を希望する請願等は、6月3日(月)午後5時までに提出をお願いします。

傍聴を希望される方は、市役所4階の議会事務局の窓口までお越しください。
日程等、変更になる場合もありますので、事前にお問い合わせください。
議会事務局 電話042-544-4476(直通)